

製造資本

ミネベアミツミの競争力の源泉である製造資本の強みは、超精密加工技術と大量生産を両立する垂直統合生産システムです。グローバル生産体制を拡充し、蓄積してきた製造ノウハウをグループ全体で共有し、製造支援の専門部隊が編成され、グループ全体の製造力強化、シナジー発揮に貢献しています。

製造資本の強み

- ・垂直統合生産
- ・グローバル体制
- ・蓄積された製造ノウハウ

製造資本の強み

強み1 垂直統合生産システム

ベアリングをはじめとする超精密部品の多くは、ミクロン(100万分の1)、ナノ(10億分の1)の加工精度が求められ、億単位の大量生産が求められます。ミネベアミツミは、自社技術で設計・開発から組立・検査まで社内管理する「垂直統合生産システム」を確立し、製造コストを低減するとともに、高精度かつスピーディーな供給を実現しています。

超精密加工技術と大量生産を両立させる垂直統合生産システム



強み2 23カ国125拠点に広がるグローバル生産体制

当社の強みである「多様性」は製造資本でも力を発揮しています。23カ国125拠点に広がる生産・研究開発拠点のなかで、日本のマザー工場と、タイ、フィリピン、中国、カンボジアなど東南アジアや欧米の量産拠点が緊密に連携し、多様な市場ニーズに迅速かつ柔軟に対応しています。

また、ベアリング、モーター、センサー、コネクタ、アクセス製品など、ほとんどの事業が複数の国に拠点を持つとともに、同一国内であっても複数拠点を構えることで、リスク分散体制を強化しています。単なるリスク分散にとどまらず、すべての国の拠点で「同じ技術、同じ管理」の指導をおこない、生産国が違っても「同じ品質」の製品を生産できる体制を整備することで、例え一部の地域で生産が止まっても、お客様の要求する水準の製品を供給する、

真の意味でのリスク回避を実現しています。

また地産地消も視野に入れた「同じ型式の複数工場での生産」を意識したリスク分散も実施しています。



強み3 製造ノウハウの共有と製造支援の専門部隊

ベアリングのなかでも極小・ミニチュアサイズに特化して製造力を磨いてきたミネベアミツミでは、性能・品質・歩留率を極限まで追求し、高いレベルで生産性改善に取り組んできました。これらの製造ノウハウは、ベアリングだ

けではなく、モーターや電子機器などグループ全体で共有され、当社製品の差別化につながっています。製造支援の専門部隊も編成され、経営統合においても、早期のシナジー発揮を可能にしています。

経営戦略を達成するための製造資本戦略の基本方針

製造本部は、ベストプラクティスの共有、自動化などに代表される製造現場における将来のあるべき姿の構築、「ものづくりDNA」を次世代に継承することを目指します。これらの実現に向けて、チームビルディングによる供給力のさらなる向上、リスクマネジメントの強化、環境負荷低減などさまざまな取り組みを実施しています。

目指す製造資本

- ・圧倒的な供給体制の構築、
- ・リスクマネジメントの強化、環境負荷低減

現状の課題

製造現場における人的資本の育成・獲得

地政学等リスクの増大

環境問題

施策

戦略1 スピーディーかつ圧倒的な供給力をチームビルディングでさらに向上

技術革新の変化のスピードはこれまで以上に加速化・多様化し、部品メーカーとしても市場や完成品メーカーのお客様に、より一層スピーディーに、大量に、フレキシブルに製品をお届けすることが求められています。

圧倒的な供給力を実現するために当社が追求しているのが生産性向上です。これまで垂直統合生産で磨いてきた内製部品・生産設備の製造ノウハウを多岐にわたる事業で共有し、生産性向上においてもシナジーを発揮しています。

部品や生産設備の内製化は、コスト低減、生産性改善、急なモデル変更などへのスピーディーかつ柔軟な対応を可能にし、当社製品の競争力を強化しています。今後も、さらなる部品・設備の内製化率の向上、自社の生産設備を

活用した自動化の推進、最適な生産監視システムの確立などに取り組んでいきます。

また、効率的な設備投資、M&Aを通じて、常に先手を打ち、将来を見据えた生産能力増強をおこなっています。主力事業であるボールベアリングは、従来取り組んできた生産性改善に加え、今後の市場回復を見据え、月産3億7,000万個の供給体制を整えました。

蓄積された製造ノウハウ・ベストプラクティスを共有するなど、チームビルディング活動や東京クロステックガーデンの活用を通してさらなる生産性向上、生産能力増強に努め、スピーディーかつ圧倒的な供給力をさらに磨き上げていきます。

チームビルディング P.47

戦略2 リスクマネジメントの強化

ミネベアミツミは、世界トップシェアの製品を持つ部品メーカーとして、お客様への供給責任を果たすことが社会的責任であると考え、グローバルな規模でリスク管理体制の拡充に努めてきました。

事業、生産の多様性によるリスク分散は、新型コロナウイルスだけではなく、原材料価格上

昇や半導体不足に伴うサプライチェーンの混乱においても効果を発揮し、工場の操業と顧客への出荷への影響を最小限に抑制しています。

今後も、トップ・従業員が一丸となって危機に立ち向かい、逆境に揺るぐことのないリスクマネジメントの強化に全力を尽くしてまいります。

リスクと機会 P.29-30 リスクマネジメント P.79-80

戦略3 製造における環境負荷低減に注力

ミネベアミツミは、従前より経営理念・社是に基づき、量産拠点であるタイ、上海工場では工場ゼロ排水システムの運用をはじめ、環境に配慮した取り組みをおこなってきました。今後も、量産拠点であるタイとフィリピンの主要工場での太陽光発電システムの導入を皮切りに、フィ

リピンとヨーロッパではPPA(電力購入契約)、タイ、カンボジアにおける自社発電に取り組むなど、世界的に気候変動・脱炭素に注目が集まるなか、環境負荷低減により一層力を入れていきます。

環境への取り組み P.57-62